

# 第5学年外国語科学習指導案

2021年10月6日(水) 第6校時

学習者 5年1組 36名

指導者 志村 留美 (JET)

## 学習指導要領 領域目標

【聞くこと】 ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

【話すこと[発表]】 イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

## CAN-DO リスト形式の学習到達目標

【聞くこと】 ア ゆっくりはっきりと話されれば、できることやできないことなどについて聞き取ることができる。

【話すこと[発表]】 イ 自分のできることやできないことなどについて、内容を整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

## 児童に話させたい表現例 (B 規準)

Hello. I'm Shimura Rumi. I can play table tennis. I can ride a unicycle.

This is my friend, Akira. He can do kendo. Thank you for listening.

1. 単元名 NEW HORIZON Elementary English Course 5

Unit 4 He can bake bread well.

2. 単元について

### (1) 単元観

本単元は、自分や友達のできることやできないことなどについて、話したり聞いたりすることができるようになることを目標としている。目標達成に向け単元を通して、動作や楽器、スポーツ等の語彙の獲得や、I can ～. I can't ～. Can you ～?などの表現を身に付けていく。また、児童は初めて、三人称の表現に出会う。これまで一人称と二人称のみで自分のことを伝えたり相手のことを受け止めたりしてきたが、身近な第三者についての表現も身に付けていく。

### (2) 児童観

本学級の児童は、中学年の時から 35 時間の外国語活動に取り組み、外国語についての学習を通して、基本的なコミュニケーションの素地を養っており、児童の多くは、外国語を使って伝え合うことや、聞くことを体験的に活動することで慣れ親しんできている。

5月に行った外国語教育意識調査では、「外国語の授業は楽しい。(肯定的評価89%)」、「外国語の授業では、自分から進んで学ぼうとしている(肯定的評価90%)」、「英語が好きだ。(肯定的評価82%)」の項目において一定の興味・関心が高いことがわかる。反面、「英語の授業で英語を使って発表することが

楽しい。」の項目は、肯定的評価 75%となっており、英語で自分のことや自分の考えを発表することに苦手意識を持つ児童が 4 分の 1 程度いる実態がある。

### (3) 指導観

本単元のゴールには、「新しく四万十市に赴任してくる ALT に、自分と友達のことを紹介する」という言語活動を設定する。その言語活動を設定することで、児童が自分達のことを紹介するという目的意識や相手意識を持つことができるとともに、主体的に意欲を持って英語を聞いたり話したりできると考えたからである。

単元の導入では、本校の ALT から児童に、四万十市に新しく赴任してくる ALT が具同小にやって来るので、みんなのことを知ってもらうために、自分達のことを紹介して欲しいという思いを伝え、単元のゴールをイメージさせ、単元の見通しを持たせる。

単元の前半 4 時間では、動作や楽器、スポーツ等の語彙や、I can (can't) ~. Can you ~? Yes, I can. No, I can't. He (She) can (can't) ~. の表現を身に付けさせる。これらの語彙や表現は、様々な場面で活用できる表現なので、繰り返し使用することで定着を図っていく。

後半 4 時間では、単元ゴールの活動に向けて、発表活動を何度も行う。活動を通じて、表現の見直しをさせたり、伝え方の工夫を考えさせ、内容が深まっていけるようにさせる。

また、この活動を通じて、友達とのやり取りから、友達の新たな一面を知ったり、自分との違いや共通点に気付いたりすることで、コミュニケーションが深まっていけるようにさせたい。

### 3. 単元目標

新しく四万十市に赴任してくる ALT に、自分達のことを紹介するために、自分と友達のできることやできないことについて、自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。また、できることやできないことなどの具体的な情報を聞き取ることができる。

\*本単元における「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

### 4. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 I/ He / She can ~. ・ Can you ~? ・ Who is ~? ・ This is ~. 及び関連語句など自分や相手、第三者ができることを表す表現やその尋ね方、答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 相手・第三者ができることやできないことについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付</p>	<p>相手や第三者のことをよく知るために、相手や第三者のできることやできないことなど、具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>相手や第三者のことをよく知るために、相手や第三者のできることやできないことなど、具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p>

	けている。		
話すこと・発表	<p>〈知識〉 I/He/She can～. ・ I/He/She can' t～ ・ Can you ～? など 自分や相手、第三者ができることやできないことを表す表現やその尋ね方・答え方について理解している。</p> <p>〈技能〉 I/He/She can～. ・ I/He/She can' t～ ・ Can you ～? など 自分や相手、第三者ができることやできないことを表す表現などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	新しく四万十市に赴任してくるALTに、自分達のことを紹介するために、自分と友達のできることやできないことについて、自分の考えや気持ちを含めて話したりしている。	新しく四万十市に赴任してくるALTに、自分達のことを紹介するために、自分と友達のできることやできないことについて、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。

5. 単元の指導と評価計画（全8時間）

時間	目標◆・主な活動【 】○	評価			
		知	思	態	評価規準〈評価方法〉
1	<p>◆学習の見通しを持ち、できることやできないことについて聞いたり話したりすることができる。</p> <p>【Teacher Talk】 ・単元ゴールを提示し単元の見通しを持つ。</p> <p>【Activity 1】 ・授業者のジェスチャーからどんな動作かを予想し、動作を表す言い方を知ったり、実際に動作などを行い「can」「can' t」のイメージを持つ。</p> <p>【Activity 2】 ○Let' s Talk ・自分のできること・できないことをペアで話す。</p>				<p>★本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない時間においても、教師が児童の学習状況を確認。</p>
2	◆あることができるかどうか尋ねたり答えたりすることができる。				

	<p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業者のできることやできないことを聞き、授業者の質問に答える。</li> <li>・授業者との会話から、できるかどうか尋ねたり答えたりする言い方を知る。</li> </ul> <p>【Activity 1】</p> <p>○Let' s Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できることやできないことを予想して、ペアで尋ね合う。</li> <li>・中間指導を行う。</li> <li>・クラス全体でインタビュー活動を行う。</li> </ul>			<p>★本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない時間においても、教師が児童の学習状況を確認。</p>
3	<p>◆できることやできないことを話すとともに、できるかどうか尋ねたり答えたりすることができる。</p>			<p>★本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない時間においても、教師が児童の学習状況を確認。</p>
	<p>【Sound and Letters】</p> <p>【Let' s Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Can you swim fast?」</li> </ul> <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業者との会話からできるかどうか尋ねたり答えたりする言い方を復習する。</li> </ul> <p>【Activity 1】</p> <p>○Let' s Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のできることやできないことを予想してインタビュー活動を行う。</li> <li>・中間指導を行う。</li> <li>・再び活動を行う。</li> </ul>			<p>★本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない時間においても、教師が児童の学習状況を確認。</p>
4	<p>◆できることやできないことを聞き取るとともに、第3者を表す表現に慣れ親しむ。</p>			<p>◎登場人物のできることできないことについて、具体的な情報を聞き取っている。 &lt;行動観察・ワークシートの記述分析&gt;</p>
	<p>【Sound and Letters】</p> <p>【Let' s Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Can you swim fast?」</li> </ul> <p>【Activity 1】</p> <p>○Let' s Listen 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・We Can 1 を使用し、登場人物ができること・できないことを聞き取り、ワークシートに分かったことを書き留める。</li> </ul> <p>【Activity 2】</p> <p>○Who is he / she?クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時のインタビューをもとに、友達のできることやできないことを参考にグルー</li> </ul>	聞		<p>◎登場人物のできることできないことについて、具体的な情報を聞き取っている。 &lt;行動観察・ワークシートの記述分析&gt;</p>

	ブでクイズを出し合う。				
5	◆第三者ができることやできないことについて話すことができる。				
	<p>【Let' s Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「She can sing well.」</li> </ul> <p>【Activity 1】</p> <p>○Let' s Listen 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ We Can 1 を使用し、John と Christina の できること・できないことを聞き取りワー クシートに書き留める。</li> </ul> <p>【Activity 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達や家族、先生など身近な人のでき ることやできないことを伝え合う。</li> </ul>	聞			<p>◎第三者ができることやできないこ とについて、具体的な情報を聞き取 っている。</p> <p>&lt;行動観察・ワークシートの記述分析&gt;</p>
6	◆自分と友達のできることなどを紹介するために、話す内容を考え話すことができる。				
	<p>【Let' s Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「She can sing well.」</li> </ul> <p>【Teacher Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JET や ALT の話を聞き紹介の仕方を確認 する。</li> </ul> <p>【Activity 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表内容を考える。</li> <li>・ 自分で考えた発表内容をペアで話す。</li> </ul>				
7	◆自分と友達のできる事などについて、自分の考えや気持ちも含めて話すことができる。				
	<p>【Let' s Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「I can swim.」</li> <li>・「She can sing well.」</li> </ul> <p>【Let' s Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループで紹介し合う。(Do)</li> <li>・ 中間指導を行う。(Learn)</li> <li>・ 前半の活動を振り返り、良かった点を評 価したり、相手意識を持って、分かりや すい伝え方をしている児童を紹介したり する。</li> <li>・ 話す内容が深まっていけるような中間指 導にする。</li> <li>・ 再びグループで紹介し合う。(Do again)</li> </ul> <p>【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間指導後活動で自分が工夫した点を振 り返る。</li> </ul>	発	発		<p>◎新しく四万十市に赴任してくる ALT に、自分達のことを紹介するた めに、自分と友達のできることやでき ないことについて、自分の考えや気 持ちを含めて話したりしている。</p> <p>&lt;行動観察&gt;</p> <p>◎新しく四万十市に赴任してくる ALT に、自分達のことを紹介するた めに、自分と友達のできることやでき ないことについて、自分の考えや気</p>

					持ちを含めて話そうとしている。 <行動観察>
8	◆新しく四万十市に赴任してくる ALT に、自分と友達のできることなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話すことができる。				
	<p>【Let' s Talk】</p> <p>○発表</p> <p>【Reflection】</p> <p>・伝え方や内容面でどのようなことを意識したかを振り返る。</p>			発	<p>◎新しく四万十市に赴任してくる ALT に、自分達のことを紹介するために、自分と友達のできることやできないことについて、自分の考えや気持ちを含めて話したりしている。 &lt;行動観察&gt;</p> <p>◎新しく四万十市に赴任してくる ALT に、自分達のことを紹介するために、自分と友達のできることやできないことについて、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。 &lt;行動観察&gt;</p>

6. 本時の学習 (2 / 8)

(1) 本時のねらい あることができるかどうかについて尋ねたり答えたりすることができる。

(2) 見届けの視点 あることができるかどうかについて尋ねたり答えたりしている。

(本時では目標に向けて指導を行うが記録に残す評価はしない。)

(3) 本時の展開

時間	児童の活動	JET の活動	* 指導上の留意点 ◎ 評価の観点 < > 評価方法
1   4	① Greeting  ② Aim of this lesson ・ This unit' s goal ・ Today' s goal ・ 単元のめあてと本時のめあてを確認する。	・ 全体で挨拶をする。  ・ 前時で学習したことを確認し、本時のめあてを確認する。 ・ 本時の見通しを持たせる。	* 常に単元ゴールを意識するようにさせる。 * 本時のめあてを伝え、見通しが持てるようにする。
友達のことをよく知るために、友達のできることを調べよう。			
7   17   21   27	③ Small Talk ・ 授業者のできることやできないことを聞き、質問に答える。  ④ Talking Time① ・ 相手のできそうなことを 4 つ予想し尋ね合う。  ・ 中間指導①  Talking Time② ・ クラスの友だちの中で、できそうなことを予想し尋ね合う。	・ 「I can / can' t ~.」 の表現を使って自分のできることやできないことを紹介する。  ・ 前時で学習したことを確認し、本時のめあてを確認する。 ・ 本時の見通しを持たせる。  ・ 中間指導を行う。 ・ 児童と尋ね方・答え方の確認をする。必要であれば、全体で動作を表す言い方などを練習する。	* 前時の単元で学習した語句を使用しながら本時の活動の内容に近づけられるようにする。  ◎ あることができるかどうかについて尋ねたり答えたりしている。 < 行動観察 > (本時では、目標に向けて指導を行うが記録に残す評価はしない。)
児童 A: Hello. 児童 B: Hello. 児童 A: Can you play <i>kendama</i> ? 児童 B: No, I can't. Can you ride a unicycle? 児童 A: Yes, I can. 児童 B: Me too.			

32	・ 中間指導②	・ 2回目の活動を振り返り、良かった点を評価したり手本となるペアを紹介する。	* 中間評価では、ここまでの活動で良かったところを紹介し、全体に広げるようにする ＜行動観察＞
37	Talking Time③ ・ クラスの友だちの中で、できそうなことを予想し尋ね合う。	・ 黒板に貼ってある動作カード以外での表現を引き出させて3回目の活動を行う。	
42	⑤Reflection	・ 本時のねらいに沿って振り返りをする。	* 児童の良かったところを具体的に話すことで次時への意欲を高めるようにする。
45	⑥Closing		

板書計画

Today' s goal 友達のことをよく知るために、友達のできることを調べよう。

Can|you| 動作の絵カード | ?

○ Yes,|I|can.| / **×** No,|I|can't. |

動作の絵カード

動作の絵カード

動作の絵カード

動作の絵カード

授業の流れ

1. Greeting
2. Small Talk
3. Today's Aim
4. Talk Time
5. Reflection
6. Closing

\*Let's Talk で使用する絵カードを貼る



